

# 伊勢湾ぶらあるき

[第7回]

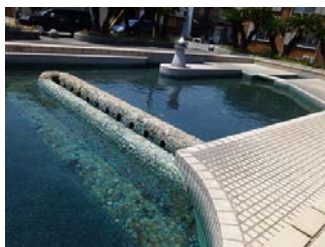
■旧四日市港／2018. 5. 14. (3km)



・稲葉三右衛門顕彰碑



・潮吹き堤防を臨む水路を挟んだ埋立地は、稲葉町と高砂町と名付けて向かい合っていますが、三右衛門と妻たか子の名にちなんでいます。



・潮吹き堤防の模型。水が動いて機能の様子が見られます。

○今回のまとめ・

- ・四日市港は、名古屋港より8年早く1899(明治32)年に国際貿易港として開港し、綿花や羊毛と原油の輸入で発展し、現在は港湾取扱貨物量(2015)全国1位の名古屋港と14位の四日市港とで国際港湾として機能していますが、四日市港のルーツは、明治初期に稲葉三右衛門による修築事業にあり、ここ(旧四日市港)から北進・南進しながら発展してきました。
- ・今回の「ぶらあるき」は、旧四日市港を歩いてみました。



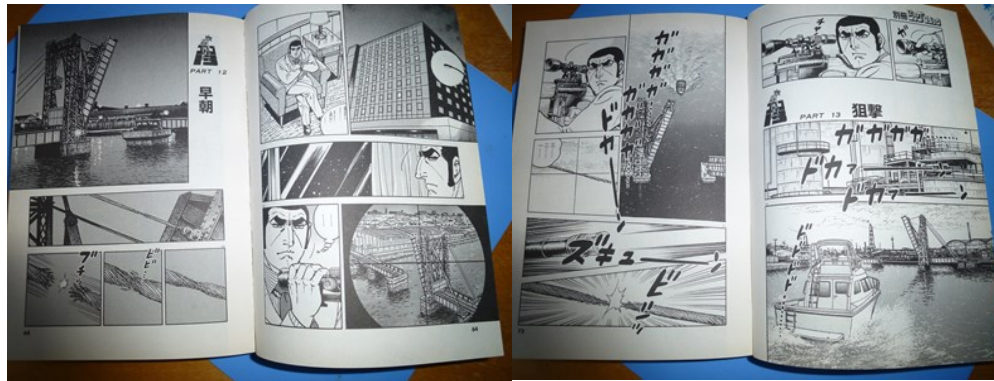
・船が通る時は70度に開く跳ね上げ式の「臨海橋」



・千歳運河



・可動橋として初の重要文化財「広末橋梁」



・広末橋梁と旧四日市港は『ゴルゴ13』にも登場。



・サイロも最近はあまり見なくなりました。

・諏訪神社の祭礼・  
四日市祭に登場する  
大入道とこにゆうどう  
くん

